市政だより

障害者福祉都市・特集

行 宇 治 市 編 集 広 報 課

〒611 京都府宇治市宇治琵琶33番地 電話 22-3|4|

を受け、福祉施策の一層の充実に 国から「障害者福祉都市」の指定 め、五十七・五十八年度の二年間 向けて取り組んできました。 現在、市内には心身に障害を持

れを機に、福祉のまちづくりのた 加と平等」をテーマに、国際障害 精神に基づき、障害者の「完全参 者年がスタート。字治市では、こ 昭和五十六年、世界人権宣言の

害児・者に対する福祉の基本計画 基本方向を定め、その中で心身障 かな暮らしをめざす」町づくりの 宇治市総合計画では、「健康で豊 方面にわたっての事業を進めてい うに、生活環境の改善をはじめ多 が、安心して日常生活が送れるよ 市では、心身障害児・者の皆さん った人々が約三千人おられます。

障害児・者に対して所得・就労・ 善、心身障害者福祉センターや通 保健医療の保障、住みよいまちづ 所施設の建設など施設整備、在宅 くりのための道路や公共施設の改 を示しています。その柱は、心身

サービスの充実を

ています。 図ることからなっ 「障害者福祉都

市民のご協力で 福祉の風土づくり

日に、国連総会は つひとつが、字治 市」推進事業の一 全会一致で、障害 具体化として進め 市総合計画実現の で、「障害者は、 しました。その中 者権利宣言を採択 られているのです 五十年十二月九

市」の指定を受 和五十七年度に 「障害者福祉都 本市では、昭

福祉の風土づくりに集中して取 障害児・者の福祉をより積極的 けました。その目的は、「愛と り組むことにあります。 に進めるため、都市環境整備や ふれあいの地域社会」をめざし 市民の皆さんの深いご理解と積 この二カ年の指定期間の中で

円の障害児・者対策の事業を推 極的なご協力により、約六千万

尊厳が尊重される

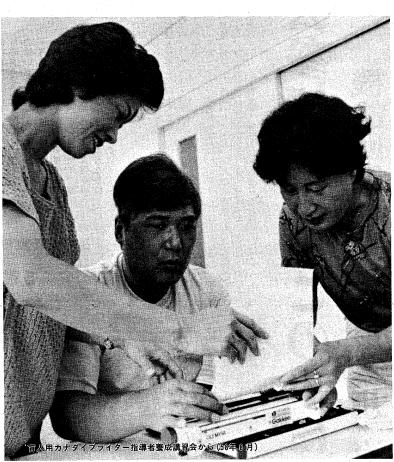
その人間としての

じめとする総合福祉会館が、 要な役割を果たしていることは、 大きな喜びです。 祉のまちづくりの拠点として重 た身体障害者福祉センターをは 進することができました。 市では、今後とも市民福祉の また、昨年一月に開館しまし 福

ディキャップと暗 利を有している。 生まれながらの権

障害者はそのハン

八に生きる地域



障害者福祉に今後も努力

害の原因・性質・程度のいかんに る」とうたっています。 かつ十分満たされた、相当の生活 かかわらず、同年齢の市民と同等 ことは、障害の有無にかかわらず はまず第一に、可能な限り通常の の基本的権利を有する。このこと を送ることができる権利を意味す 人間としての尊厳が尊重される

私たちが生きていくうえで最も大 切なことです。 宇治市総合計画の基本理念もこ

配りは欠かすことができません。 市民の皆さんの深いご理解や心 ップを克服していくためには、

のご協力を心からお願いします 今後も、より一層市民の皆さん くことにしていますが、障害児 向上にむけて努力を傾注してい

者の持っているハンディキャ

世人

が大

害者福祉の基本計画の実現、福祉 の指定が終了した後も引き続き障 す。市では、 のような視点からつくられていま のまちづくりを進めていくことに しています。 「障害者福祉都市」

人生半ばでギラン・バレー症候群

ト。近畿地区一円に発行されてい る広域団地新聞の、営業・事業関

越えて

による闘病生活の末、両上下肢機 交付を受けた人である。 能障害の後遺症で昭和五十七年五 月、障害一級の身体障害者手帳の 五十九歳)。ギラン・バレー症候群 藤井さんの職業はジャーナリス 藤井治さん(莵道中筋に在住)

生の中で、突然降りかかったわが バリバリ仕事をこなしていた。 家庭も仕事も順調すぎる程の人

テーション(機能回復訓練)を正に 精神力で耐え、障害と闘う藤井さ に見舞われながら厳しいリハビリ 両上下肢まひという過酷な運命 係の総括責任者として、第一線で 激励を与えてくれています。

戦いは今日も続いているのです。障 をめざして再び入院。社会復帰への

ざす藤井さんは、すべての人たちに 害を克服し、再び充実した人生をめ の強い意志がありました。五十九年 ちの支えと、藤井さんの社会復帰へ の献身的な治療と家族や周囲の人た までに回復。そこには医療スタッフ り、不便ながらも日常生活が出来る ざし生きるための限りない努力によ 害を負った藤井さん。社会復帰をめ という難病に倒れ、両上下肢機能障

一月に、藤井さんは一層の機能回復

えること。について考えてみたい ギラン・バレー症候群…聞き慣 突然の発病 まひは急速に全身へ うこと、そして超

治療方法も確立されておらず、対 発性神経炎で、現代医学ではその れない病名である。原因不明の多 して、『障害を負 のか、無性にのどが乾いたと言う。 家に着くと医師の言葉に安心した められ、ひとまず帰路についた。 ため、連休空けの入院・検査を勧 間ギリギリで、連休の前日だった のことである。あいにく、診療時 こに病院へ。五十六年三月十八日 大声で家族を呼び、朝食もそこそ ものへの恐怖感が全身をよぎった ある。驚きよりえたいの知れない 身がしびれて身動き出来ないので たところ全く腰が立たない。下半

んの生きざまを通

京都市身体障害者リハビリセンタ 見学会に参加した藤井さん(58年 -からの

多くの人たちの

受けた。藤井さんは、このころの するリハビリテーションも進んで 不自由さを思い知るようになった その一心で大方の人がしり込みを の周りのことは自分でしたい…」 い、藤井さんは両手足が動かない 言語機能が再び正常に戻るに従 「手足が不自由でも、何とか身

出来れば、職場復帰をしてジャー

として残された人生を生きよう。

「これからは、障害者の代弁者

代弁者として活躍を始めた。

藤井さんは、病院内で他の患者の いにも残された言語機能を生かし ップを発揮するところとなり、幸 次第に患者仲間の中でリーダーシ

何度かの生死の境目を見事 ばたきも出来るようになっ 復、唇がかすかに動き、ま に乗り切った。 顔面のまひは少しづつ回

肢まひという過酷な運命が 与えられていた。 せるようになり、八月十日、 しかし、その体には両上下 藤井さんに再び声が戻った。 人工呼吸機が少しづつはず 入院四カ月後の七月中旬

のように曲げる前屈訓練では、ウ

程の痛さでした。また、腰をえび かもかなぐり捨てて逃げ出したい で腕を持ち上げられた時は、何も いました。療法士のたくましい力 た腕や肩や腰は、関節が固まって

たよ」と淡々と語る。

その粘り強い精神力と肉体は、

に吐いてしまう程苦痛を伴いまし ーッ、ウーッといううめき声と共

支えの中で

地域・社会と共に 再び生きるために

加を考えた。

したい」藤井さんは、再び社会参 ナリストとして社会へ何かを還元

ているだけの難 症的に治療され 病である。 創刊二十周年記 ことだった。 折りしも新聞 発病は突然の 藤井さんは牛乳を飲もうとして

機能回復へガンバル藤井

治さん

救われた生命 残った障害

され、無事終え

進行をすべて任

た。 そのころの たところであっ 念事業の企画

ずに、ほかの救急病院へ急いだ。 れは大変な事だ」連休空けを待て 既にのどまで進んできている。「こ 出た。先程の下半身のしびれが、 い。焦りと恐怖でひや汗がにじみ がく然とした。牛乳が飲み込めな

かなえてくれた医師、看護婦、そ てくれという自分の切なる望みを して家族や友人、その人たちの真 また、「生きたい、生き残らせ

り、入るのをあきらめてしまいま

す」と穏やかだが鋭い指摘をする。 ほとんどの店は入り口に段差があ に食堂、喫茶店を利用したくても なかったりします。さらに外出時 ボックス前には段差があり近付け

ことを、「自分はこのまま社会へ参 てましたね」と思い出すように話 つらい訓練でも、積極的に挑戦し 考えていました。そのためには、 い。何とかもう一度、今の自分と 加せずに暮らしていく人間ではな して社会に役立つことをしたいと

ルを回すことが出来ないし、電話 の時、車いすの人間に与えている 運転者は、腕に自信があってもそ すで道路の端を通っている時、後 かった舗道の段差とこう配、突き は、電話器の位置が高くてダイヤ 恐怖を考えて欲しいものです。 ていく自動車は、たまらなく怖い。 ろからすり抜けるように追い越し のだと分かりました。また、車い 出ている電柱などが大変危険なも 見た。「今まで意識することが無 また、市内各所にある公衆電話 藤井さんは、車いすで街へ出て 言うべき生への執着心は、

もその真剣な姿は看護婦や患者の ーションに明け暮れ、病院の中で

心を捕らえるようになった。

「半年以上も微動だにしなかっ

3月18日(日) 午前10時~午後4時

総合福祉会館と前庭 ところ

(宇治市役所から南へ200m)

宇治市障害者福祉都市推進事業として「すぶりんぐかーにばる'84」を開 きます。障害者福祉都市のフィナーレを飾り、今後も福祉の輪を ていくためのお祭りです。ぜひ、ご参加ください。

なお、車いすなどを利用されている人で、交通機関を利用して来場する のが困難な人は、送迎します。ボランティアバンク (☎²⁰⁵⁶⁵⁴) までお申 し込みください。費用は無料です。



■主な催し物…フォークコンサート(フォーク歌手、西岡たかしさんほか)・映画「春 男の翔んだ空」・写真展・模擬店・コーヒーハウス・がらくた市・人形劇・共同作業所 ・おもちゃ図書館・楽焼コーナー・みんなで歌う音楽会・ほか ■主催…社会福祉協議会・宇治ボランティアバンク

▶障害を克服し充実した人生をと語る藤井さんと奥さん(1月21日、藤井さん宅で)

勤しよう」と起 の疲れを感じな さんは前日まで き上がろうとし がらも早朝「さ 告をと、かなり の東京出張の報

です」と語る。 っていったよう 増してひどくな ていましたが、 力で持ちこたえ ているようでし 過労は日ごとに た。本人は精神 その日、藤井

識がはっきりしているのに、自分 何としても生きたい、生き残りた 証拠だったのですから。私自身は ない。人工呼吸機でやっと息をさ の体、いやまぶたすらも動かない。 いました」。 藤井さんの執念とも ニターの画面の反応が生きている せられて、ただ機械的な心電図モ ていることを相手に伝えるすべが あれ程の恐怖はないですね。生き い、ただその一念で病魔と闘って

り、手足はおろか、舌、まぶた、 もまひしてしまった。 眼球までも動かなくなり、呼吸筋 そのころ既にまひは全身に広が しかし、耳はよく聞こえ、熱い

> テーションに励むこと 今自分に出来ることは、 心に何とか応えたい。

それには、

リハビリ

くたくたに疲れ 「主人は、もう ことを奥さんは

常通りで判断力も依然としてしっ 冷たい、痛い、かゆいの感覚は平 かりしていた。 その時のことを藤井さんは「意

を回復し 人間性 しずつ 耐え、少 訓練でも

使命だと考え とが自分の ていくこ

ました」と支え てくれた人たちのことを話す

社会復帰を目指し

お互いに補い合うことも、りっぱ に、手足の不自由な人は目をと、

は健常な手足を相手

にたよらずに障害者同士でも助け

なにつらい しかない。どん

治さ

は何度もあります。横断中、停止 「もちろん、親切を受けたこと うなものだと思いま した」と笑った。 う思いは一掃されま に、今の若者はとい そのさりげない親切 たこともありました。 す。目の不自由な人 動とは二人羽織のよ 車いすを押してくれ が降りて来てくれ、 していた単車の青年 「ボランティア活

来る日も来る日も、リハビリテ リハビリに励む 負う身でなければ、臓器提供制度 合いを」また、「私たち夫婦は多 なボランティアです。健常者だけ

もただの知識としてしか対処して

いなかったでしょうね」と藤井さ

んは考えるように語る。

録をしました。もし、私が障害を イヤ・バンク、脳下垂体の提供登 考え夫婦そろって、アイ・バンク、 した。これを社会に還元したいと くの人たちに助けられ生きてきま

私も健常者だったときは、街の中 生きたいと願った藤井さんの新し きたいと考えています」と。 出てみて障害者の声を福祉のまち に地域の集まりに参加し、街へも にこんなに多く危険な個所がある い人生のスタートである けずに、再び社会参加をしながら んは自ら希望をし、いっそうの機 まだ不勉強ですが、今後は積極的 ことが初めて分かりました。 まだ 分が障害を負ってみていろいろな とは思いもよりませんでした。自 能回復をめざして再び入院をした。 つくりに生かせるよう頑張ってい 五十九年一月二十三日、藤井さ 最後に藤井さんはこう語った。 わが身に負った障害から目を背 「だれでもそうだと思いますが

299



ボランティア養成など

57・58年度の主な事業

生活環境改善

- ▷南宇治中学校に身体障害者用便所とスロープを設置
- ▷木幡・小倉公民館への障害者対策
- ▷主要市道の段差解消、点字ブロック敷設などの整備
- ▷市庁舎玄関の自動ドア、点字案内板の設置

障害者への福祉サービス

- ▷各種ボランティア養成講習会の実施 (リーディング ボランティア、盲人用カナタイプライター指導者)
- ▷電話ファクシミリの設置
- ▷身体障害者福祉センターの設備整備
- ▷障害児通園バス「ポニー」号の新車配備
- ▷点字電話帳、弱視者用電話帳の作成
- ▷視力障害婦人の料理教室、茶道作法教室の開催
- ▷障害者スポーツ・レクリエーション指導員養成講習 会の開催と、スポーツ用具の購入
- ▷障害者スポーツ大会の開催

心身障害児の早期療育

- ▷発達相談事業、早期療育指導教室の開催
- ▷心身障害児サマースクールの実施
- ▷小学校に障害児用教材遊具の整備
- ▷神明小学校「きこえの教室」にビデオセットを購入
- ▷心身障害児早期療育推進委員会の設置

市

- ▷市民啓発看板の設置
- ▷福祉連続講座の開催
- ▷市民啓発映画会の開催
- ▷「市政だより」障害者福祉都市特集号の発行
- ▷福祉図書、弱視者用大活字図書の購入
- ▷福祉ガイドマップの作成
- ▷福祉パンフレット「みんなのまち 福祉のまち」の発行
- ▷すぷりんぐかーにばる'84の開催(59年3月)

宇治市が、「障害者福祉都 市」の指定を受けて以来、身 体に障害をもつ人に住みよい まちづくりを進めてきた事業 のあらましをご紹介します。 の二年間の指定期間が、本年三月 宇治市への

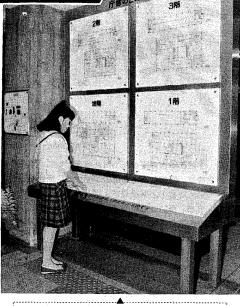
福祉都市」推進事業のまとめ

のまちは脈々と生き続けます。 で終了しますが、これからも福祉

祉事業を総合的に進めてきました。 なかでも、地域福祉の担い手、 住みよいまちづくりのために、 市では、皆さんの協力を得て、 ボ 福

「障害者福祉都市」

在 ランティアの養成に重点をおき、 ボランティアが誕生しました。現 社会福祉の知識を修得した多くの このボランティアの皆さんや



庁舎点字案内板を設置(市庁舎玄関ホール)

障害者の働く場を整備(神明共同作業所)



の。三月下旬から、福祉事務所福 祉課、宇治市公民館、木幡・小倉 ます。内容は、障害をもった人に 年金などの相談窓口を説明したも のまち、福祉のまち」を作成してい ィアグループの紹介、福祉制度や 接する際のエチケット、ボランテ 市では、パンフレット「みんな ご利用くださ 福祉パンフレット

> に福祉環境整備基準を設けて 実現のために、五十七年二月

歩ける街づくりの が自由に、安全に 地域で、福祉活動に広く活躍され ボランティアグループが市内の各

福祉の建:

民間協力すす



障害児に楽しい夏休みを サマースクールが開催(58年 8月、小倉小学校で)

信用金庫大久保支店、大久保 店舗などの施設は次のとおり 大京分教会、 治支所、京都高等工芸学校、店、五ヶ庄=宇治市農協東宇 所前出張所、 鴨与し、南京都信用金庫市役 京都労働金庫宇治支店、レス 王将チェーン宇治店、平等院、 チンコ宇治ホームラン、 です。(公共施設は除く) 境整備基準により整備された が進められています。 施設でも「福祉のまちづくり トランこなか宇治店、 字治=神谷産婦人科医院、 公共施設はもとより、 **六地蔵**=上新電機六地蔵支 **広野町**―南京都 模島町=天理教 、すし処 餃子